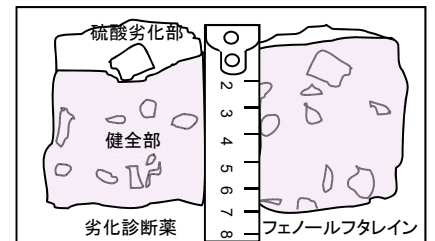
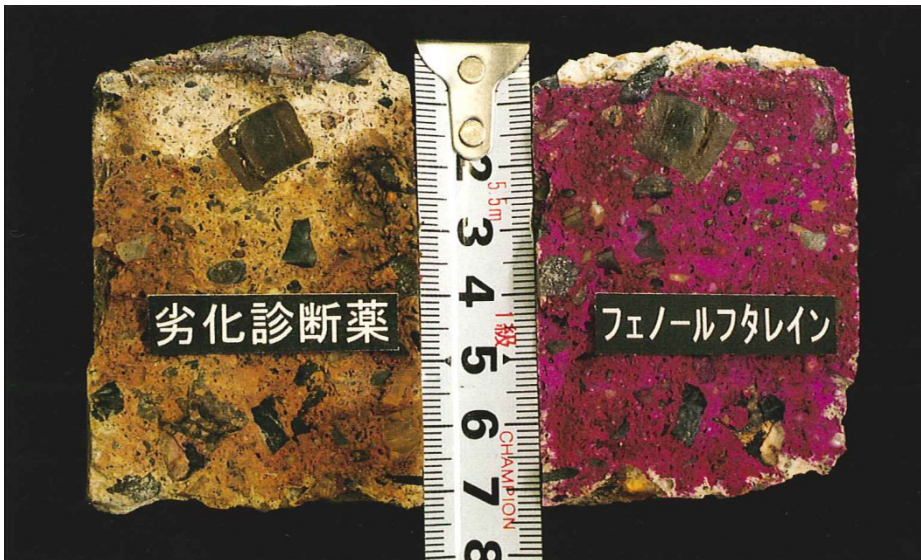


コンクリート用硫酸劣化診断薬

RCF-27



劣化診断薬による診断状況

RCF-27は、硫黄酸化細菌によるコンクリートの硫酸劣化部を数分程度の短時間に、しかも正確に判別できる診断薬であり、診断薬と発色安定剤の2剤で構成されています。

下水道施設などのコンクリートは、下水から生じる硫化水素が硫黄酸化細菌によって硫酸に酸化され、その硫酸がコンクリート中のカルシウムと反応して脆弱化し劣化すると言われています。

劣化したコンクリート面にこの診断薬をスプレーすると、硫酸が浸透していない健全な部分だけが赤褐色に発色し、硫酸劣化している部分は発色しません。なお、診断薬は乾燥すると退色するため、診断薬のスプレー後、直ちに発色安定剤をスプレーします。

特長

1. コンクリートの硫酸劣化部を短時間で、且つ正確に測定できます。
2. 測定には専門技術者を必要とせず、簡単に測定できます。
3. 経済的です。(化学分析では、1箇所当たり約30万円の経費と10日の分析期間が必要)
硫酸劣化部の深さを的確に測定するには高価な化学分析が必要とされるため、一般的に化学分析は敬遠されて、従来は簡易的にフェノールフタレインを用いて中性化域を測定し、安全をみてさらに1～2cm深くコンクリートを除去するなどの方法がとられていました。
従って、RCF-27を用いると経済的に劣化診断が行えるばかりか、従来手法では判らなかつた劣化部除去不足による修復モルタルの経年剥離、あるいは必要以上のコンクリートのはつり取りなどの問題が一挙に解決されます。

使用方法及び使用量

1. 測定面の塵埃を除去して下さい。水洗除去が最も適していますが、空気の吹掛けでも結構です。なお、水洗による余分な水は拭き取って下さい。
2. 測定面は多少湿潤している程度が好ましく、乾燥面の場合は、湿潤面に比べて発色に多少の時間がかかります。
3. 診断薬を専用スプレーで測定面に吹掛けた後、直ちに発色安定剤を吹掛けて下さい。
4. 診断薬と発色安定剤の使用量の目安は、ともに10cm角で1～2mL(約4～5回程度の噴霧)です。詳しくは、製品に添付されている「取扱説明書」をご参照下さい。

使用及び取扱上の注意事項


1. 本製品を劣化診断薬以外には使用しないで下さい。
2. 発色安定剤はアルコール系ですので、火気厳禁として下さい。
3. 診断薬、発色安定剤の順に使用して下さい。
4. ダンボール箱に診断薬と発色安定剤が同量ずつ入っています。また、各専用スプレーにはそれぞれの表示がしてありますので、スプレーへの剤の入れ間違いがないように注意して下さい。
5. ご使用前に、取扱説明書、製品安全データシート(MSDS)をご参照下さい。
6. 取扱いに当たっては、マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
7. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で洗眼した後、専門医の診察を受けて下さい。
8. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けて下さい。
9. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、専門医の診察を受けて下さい。
10. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。

包装形態及び価格

ダンボール1箱に1セットとして以下のものが入っています。また、価格は1セット当たり15,000円です。

- ・診断薬(mLポリ瓶) : 本
- ・診断薬用専用容器(500mL) : 1本
- ・発色安定剤(mLポリ瓶) : 本
- ・発色安定剤用専用容器(500mL) : 1本
- ・取扱説明書

※本商品についてのお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

製造・販売  耐食ライニング工法協会

〒305-0822 茨城県つくば市荻間515-1
TEL: 029-858-8817 / info@slasla.com